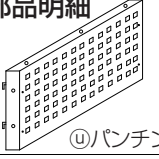
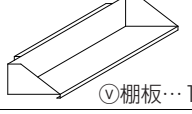
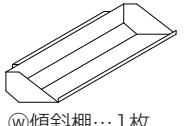


ULRT型 オプション 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

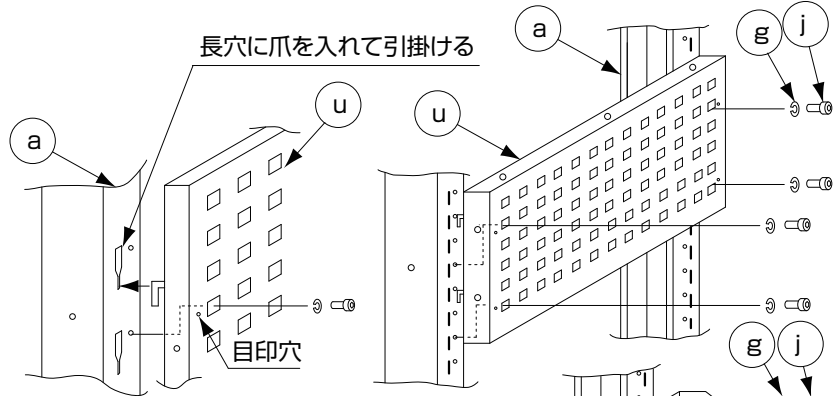
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細  ⑩パンチングパネル…1枚	A.パンチングパネル  ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個  ①キャップボルト(短)…4本(M5×10)	B.棚板  ⑦棚板…1枚  ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個  ①キャップボルト(短)…4本(M5×10)
C.傾斜棚  ⑨傾斜棚…1枚	 ⑥SW(スプリングワッシャー)…2個  ①キャップボルト(短)…2本(M5×10)	D.コンテナ受け  ⑧コンテナ受け…1本  ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個  ①キャップボルト(短)…4本(M5×10)

A.パンチングパネルの取付方法

※片面に2枚以上のパンチングパネルを取り付ける場合は、必ず下から順番に取り付けて下さい。

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、パンチングパネル⑩の爪4つを合わせて引っ掛け、はめ込んで下さい。
- 2 パンチングパネル⑩に開いている目印穴の隣りの角穴から、六角レンチ④でキャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、しっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。



B.棚板の取付方法

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、棚板⑦の爪2つを合わせて引っ掛けて下さい。
- 2 棚板⑦の両側の穴から、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。

C.傾斜棚の取付方法

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、傾斜棚⑨の爪2つを合わせて引っ掛けて下さい。
- 2 傾斜棚⑨の両側の穴から、棚を傾斜させて使用する場合は下の、水平で使用する場合は上の穴に、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み(図では傾斜させる場合)、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各1カ所)。

D.コンテナ受けの取付方法

- 1 組み立てた本体の柱③の穴に、コンテナ受け⑧の両側の穴を合わせ、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。

連結方法

- 1 連結する側の柱③の横に付いているキャップボルト(長)①、SW⑥とナット⑥を取り外して下さい(各1カ所)。

図は片面用

- 2 2台を引っ付け、1で外したキャップボルト(長)①、SW⑥、ナット⑥を利用して、柱③の上下の穴で連結させて下さい(2カ所)。

- 3 側板①と側板①の間に丸パイプ①をはめ込み、側板①2枚の穴と丸パイプ①にキャップボルト(M5×40)⑤を差し込み、SW⑥とナット⑥で締め付けて下さい(1カ所)。

仕様

パンチングパネル	寸法(mm)	棚板	寸法(mm)	傾斜棚	寸法(mm)	コンテナ受け	寸法(mm)
LUPR-P450	W900×D25×H450	LUPR-T255	W899×D255×H100	LUPR-KT900	W899×D255×H139	LUPR-C1	W899×D20×H76
LUPR-PL450	W1200×D25×H450	LUPR-TL255	W1199×D255×H100	LUPR-KT1200	W1199×D255×H139	LUPR-CL1	W1199×D20×H76

弊社では、常により良い製品を目指し、仕様・デザイン・生産技術等、あらゆる面でさまざまな改良を積み重ねております。つきましては、この組立説明書に記載している仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。ご不明な点は、お買い上げの販売店が弊社のお客様相談室にご相談ください。
※この組立説明書の無断転用を禁じます。

総発売元

トラスコ中山株式会社

お客様相談室

0120-509-849

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

MADE IN JAPAN

<http://www.orange-book.com/>

TRUSCO

PRO TOOL

Skilled professionals need professionally qualified tools.
This line of products brings manufacturers all the advantages of
using excellent equipment,
and will satisfy each and every user in the workplace.

®

ライン作業台 ULRT型

このたびは、TRUSCOライン作業台ULRT型をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、天板を任意の高さに設定できるため座り作業および立作業用に対応。また、オプションの種類も豊富で自由な高さに取り付けできるうえ後付けも容易、部品管理に最適ですので、組立ライン作業台として工場・研究室・学校・作業所等で永くご使用いただけます。

均等静止荷重 50kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます。
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意 (必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ キャスター付での使用はしないで下さい。

バランスが悪くなり、作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。

■ 不安定な場所に設置しないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ 作業台に足をかけたり、天板の上に乗ったりしないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置せず、また濡れた物を置かないで下さい。

作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■ 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従って下さい。

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

■ 作業台の切断、改造をしないで下さい。

作業台が不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■ 天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節して下さい。

傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ オプションの後付け及び組み換えや、天板の高さ変更を行う際は、必ず軍手等保護具を使用して下さい。

隙間に指を挟んだりして、怪我をする恐れがあります。

■ 化学薬品や薬物を扱う作業には使用しないで下さい。

腐食・変質などにより、作業台の品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■ 表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

■ 柱や天枠・側板の端面を素手で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■ ベース止金具や柱止金具を使用のうえ設置して下さい。

地震等での転倒を防ぐ為、必ず床面や壁(片面用)に作業台を固定して下さい。

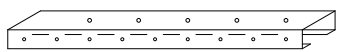
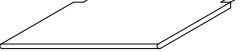
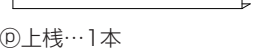
●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡しください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

ULRT2112

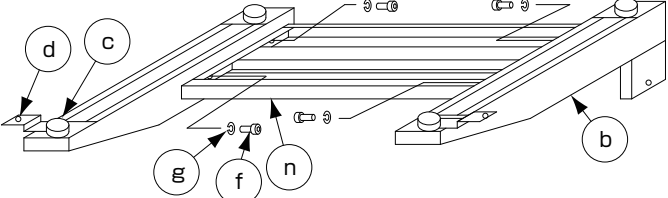
ULRT型 片面用ライン作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

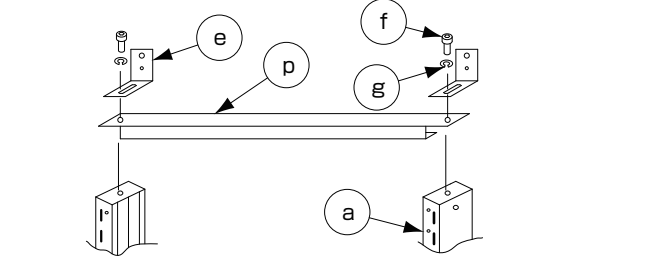
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細	1梱包	1梱包	1梱包
			
⑩柱(左右有り)…2本	①側板…2枚(左右有り)	⑧天板(切込有り)…1枚	⑨上棧…1本
	①キャップボルト(長)…6本(M5×15)	⑦キャップボルト(長)…18本(M5×15)	
	①キャップボルト(短)…6本(M5×10)	⑧SW…18個(スプリングワッシャー)	
	⑥ベース(左右有り)…2本(⑥アジャスター④ベース止金具付)	⑧SW…6個(スプリングワッシャー)	
	⑥ナット…2個(M5)	⑥ナット…1個(M5)連結用	
	①ナットアンカー…4個(M6、適合ドリル10.5mm)	⑤キャップボルト…1本(M5×40)連結用	
	①丸パイプ…1本連結用		

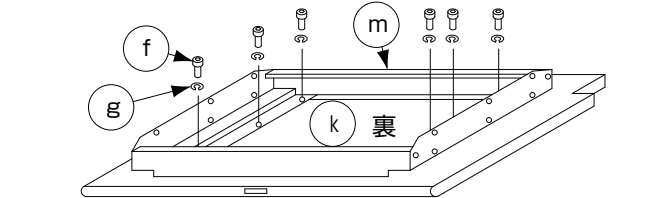
組立順序



1 ベース⑥2本を穴がある方を内側にして裏返しに置き(左右注意)、下棚⑩を裏返して穴をベース⑥の穴に合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各2カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

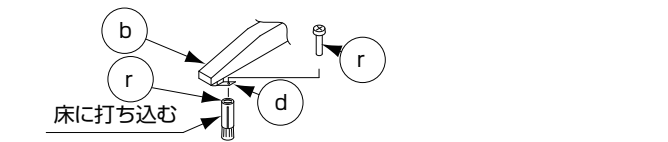


3 2で組み立てた柱⑩の上に上棧⑨を乗せ(落ちないように注意)、その上に柱止金具⑩を図のように乗せて、穴を合わせてキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各1カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

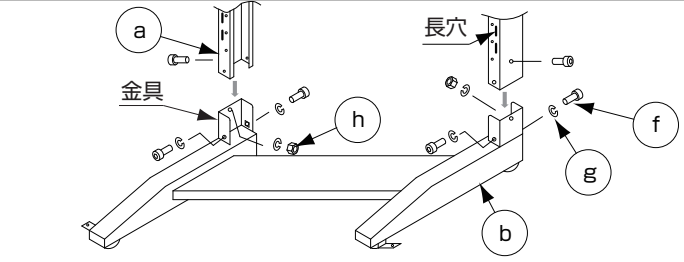


5 天板(切込有り)⑧を裏返して置き、その上に天枠⑩を裏向けに置いて、天枠⑩の穴と天板⑧のナット位置を合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(6カ所)。

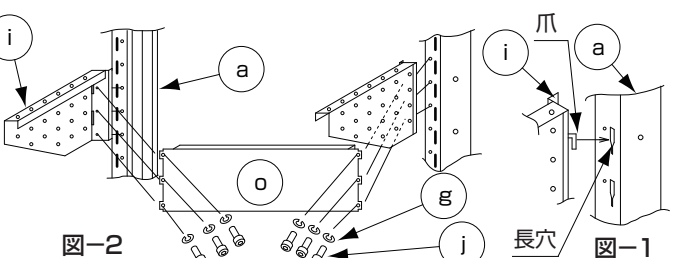
7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



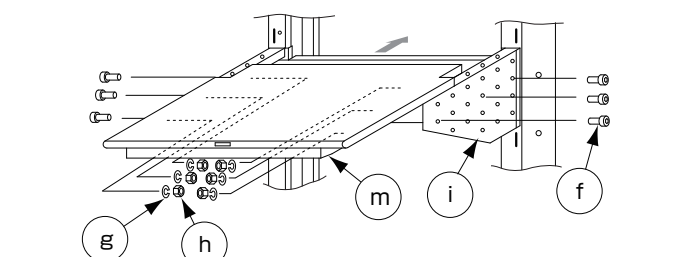
8 組み立てが終わると、アジャスター⑥で水平調節を行って下さい。そして、床にナットアンカー⑦を打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、ベース止金具⑩を利用して、床面に固定して下さい(左右各1カ所)。



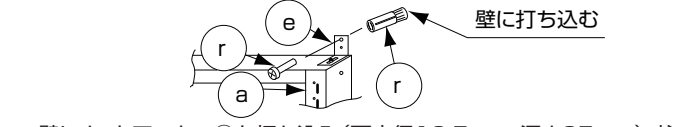
2 1で組み立てた物を表に向けて、ベース⑥の金具に柱⑩を長穴がある方を前にして図のように差し込み(左右注意、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱⑩の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱⑩も同様にに取り付けて下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



4 側板①2枚の爪を左右に注意して、2枚の高さを合わせて図-1のように柱⑩の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。図-2のように幕板⑩の穴を側板①の3つの穴に合わせ、キャップボルト(短)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各3カ所)。仮止めたキャップボルト(短)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑩の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。



9 壁にナットアンカー⑦を打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、柱止金具⑩を利用して、壁に固定して下さい(左右各1カ所)。

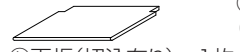
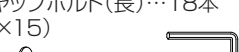
※2台以上、連結する場合は、裏面の『連結方法』をご覧ください。

仕様			均等静止荷重 50kg		
25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)	25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)
ULRT-F900	900×687.5×1885	700~900 P=50	ULRT-F1200	1200×687.5×1885	700~900 P=50

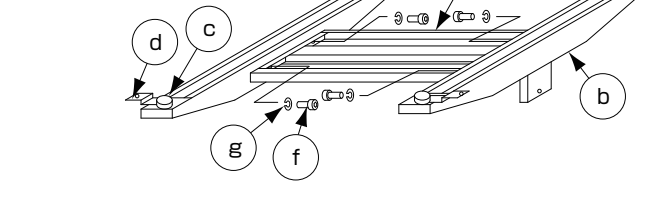
ULRT-W型 両面用ライン作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

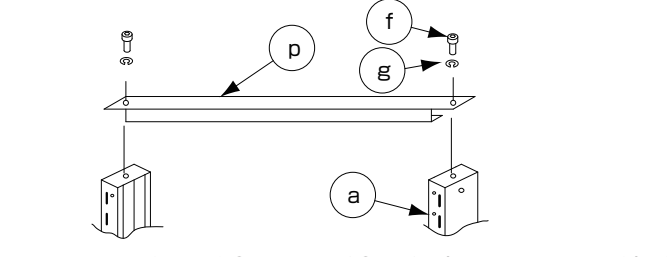
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細	1梱包	2梱包	1梱包
			
⑩柱…2本	①側板…2枚(左右有り)	⑧SW…7個(内1個は連結用)(スプリングワッシャー)	①キャップボルト(長)…18本(M5×15)
	①キャップボルト(長)…6本(M5×15)	①キャップボルト(短)…6本(M5×10)	⑧SW…18個(スプリングワッシャー)
	⑧SW…6個(スプリングワッシャー)	⑥ナット…1個(M5)連結用	⑨六角レンチ…1本(対辺4)
	⑥ナット…2個(M5)	⑤キャップボルト…1本(M5×40)連結用	
	①ナットアンカー…4個(M6、適合ドリル10.5mm)	①丸パイプ…1本連結用	

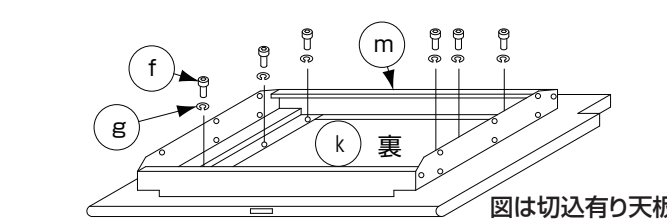
組立順序



1 ベース⑥2本を穴がある方を内側にして裏返しに置き、下棚⑩を裏返して穴をベース⑥の穴に合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各2カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

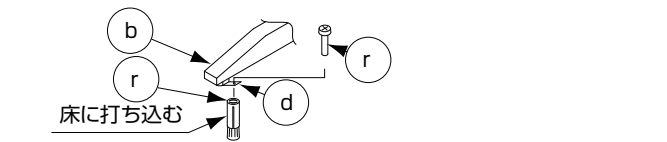


3 2で組み立てた柱⑩の上に上棧⑨を乗せ(落ちないように注意)、穴を合わせてキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各1カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

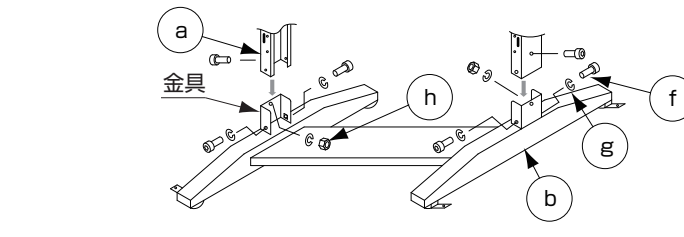


5 天板(切込有り)⑧を裏返して置き、その上に天枠⑩を裏向けに置いて、天枠⑩の穴と天板⑧のナット位置を合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(6カ所)。天板(切込無し)①も同様に天枠⑩に取り付けて下さい。

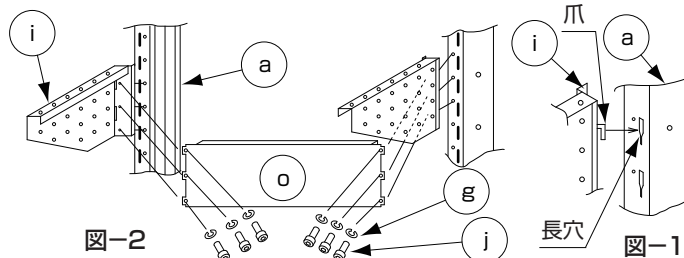
7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



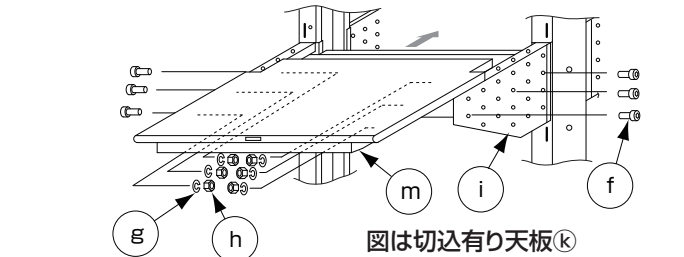
8 組み立てが終わると、アジャスター⑥で水平調節を行って下さい。そして、床にナットアンカー⑦を打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、ベース止金具⑩を利用して、床面に固定して下さい(左右各2カ所)。



2 1で組み立てた物を表に向けて、ベース⑥の金具に柱⑩を図のように差し込み、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱⑩の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱⑩も同様にに取り付けて下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



4 側板①2枚の爪を左右に注意して、2枚の高さを合わせて図-1のように柱⑩の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。図-2のように幕板⑩の穴を側板①の3つの穴に合わせ、キャップボルト(短)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各3カ所)。仮止めたキャップボルト(短)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。柱⑩の裏側にも側板①2枚と幕板⑩を同様にに取り付けて下さい。



6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑩の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。裏側の側板①にも5で組み立てたもう1組の物を同様にに取り付けて下さい。

※2台以上、連結する場合は、裏面の『連結方法』をご覧ください。

仕様			均等静止荷重 50kg		
25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)	25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)
ULRT-WF900	900×1300×1885	700~900 P=50	ULRT-WF1200	1200×1300×1885	700~900 P=50